

BFH(Baby Friendly Hospital)
赤ちゃんにやさしい病院

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長 天沼 史孝

栄養法とお口の中の関係

これまで母乳の栄養、免疫をはじめ、感染、成人病、高血圧、虐待などの予防面から母乳育児の大切さを話してきました。

ここ最近、歯科口腔外科分野からは、こどもの噛み合わせ(歯並び)や口周りの筋肉群の発達不良、う歯などの予防にとっても、母乳育児が大切であると言われていています。

また、新生児期から呼吸、嚥下の正常発達を促進する事により、口腔機能発達不全症を防止する事で、不正歯列、不正な顎顔面の成長、口呼吸、食機能低下、閉塞性呼吸障害、睡眠障害を予防し、正常で健康な心身の発達を目指すという考えもあります。口腔周囲筋の機能的発達が不十分な場合、顎の矮小化または下顎の後退、気道が狭くなり歯並びや呼吸への支障が起こり、酸素が十分に入らないため発育や発達に障害、学習能力や運動能力にも影響を及ぼすとも言われています。

この様に、人工乳では得られない大事な作用が母乳栄養には備わっているのです。

母乳育児の大切さを様々な方面から学び、皆で共有していきましょう。

新生児科医師:天沼 史孝



院内研修会のお知らせ



演題:「妊娠・授乳とくすり」

講師:柴内 法子 薬剤師

日時:8月22日(木) 16時30分から

場所:5階リハビリテーション

* ZOOMでも参加可能です *

ID:848 9962 2034 パスワード:RfE6AnvM

どなたでも参加できます！どうぞご参照ください。

